



酒井茂の県政だより

Vol.12

発行責任者:酒井茂 〒399-4432 伊那市東春近原新田8243 TEL/FAX.0265-73-5606

11月県議会

一般質問(12月6日)

長野県では、若い女性の県外への転出超過が続いており、これが少子化や人口減少の主な原因になっていることから、女性が地域に定住することが重要です。そのためには、女性が「住んでいたい」「住みやすい」と思える地域にしていかなければなりません。

子育てや介護などにおける女性の負担を軽減することが、女性にとって住みやすい地域につながると思います。

そこで、女性の負担を軽減して、「女性にやさしいまちづくり」を実現するための具体的な施策について質問しました。

I 妊娠・出産に関する支援

産後ケアについて

・女性が安心して妊娠・出産できる環境づくりが求められており、特に産後間もない母親への心身のケアや育児のサポートを行う「産後ケア」は、「産後うつ」の予防や新生児の虐待を防ぐため重要な支援といえる。

Q:県下の全市町村で「産後ケア事業」が実施されるために、県ではどのような支援を行っているのか?

健康福祉部長:事業の実施には、助産師の確保や母親に対する支援体制の構築等が必要。全市町村で「産後ケア事業」が実施されるように、助産師会をはじめ関係者と連携してしっかり支援していく。

II 子育て支援

保育所の待機児童対策について

・待機児童が問題になっているが、これとは別に「潜在的な待機児童」あることも大きな問題。

Q:長野県内の保育所における待機児童数と潜在的待機児童数は?

県民文化部長:平成30年4月現在の待機児童数は、2市で50人。潜在的待機児童は、6市で231人。

※私は待機児童を解消することが重要と考えています。県はこれまで具体的な数値の公表を控えていましたが、今回の質問に応じて初めて公表しました。

Q:待機児童及び潜在的待機児童を解消するために、具体的にどう取り組むのか?

知事:一つ目は、保育ニーズが高い地域に地域型保育の普及を図る。二つ目は保育士の確保。



9月補正予算で「保育士人材バンク」の登録者促進の取り組みなど緊急対策に着手した。国に対しては保育士の処遇改善等の制度の充実を求める。

III 介護における支援

介護人材の確保について

・今後ますます要介護者が増える中で、介護に必要な人材を増やしていかなければならない。

Q:要介護者数がピークを迎える2025年の介護人材の必要数と確保見込数の予測は? 必要数と確保見込数の乖離を埋めるために、県として今後具体的にどのような施策を実施していく方針か?

知事:2025年度末には本県で4万5千人の介護人材が必要で、それに対する確保見込は3万8千人で、需給ギャップは7千人。介護の資格取得費用の助成、介護未経験者に対する介護入門研修を実施する。「信州福祉事業所認証・評価制度」の普及に取り組み、新たに多様な勤務形態の導入支援を強化する。

今後は外国人材の受け入れ環境の整備についても重要な課題と考えている。

地域包括ケアシステムについて

・地域包括ケアシステムは市町村の取り組みに温度差があり、専門職員の不足などによりシステムがうまく機能している市町村が少ないなど、県全体としてはシステムが定着しているとは言い難い。

Q:県下の地域包括ケアシステムの構築や運用状況の課題をどう捉え、課題解決のために県として具体的にどのような対策を取っていくのか?

知事:小規模市町村に対しては、保健師・社会福祉士等の専門職や先進自治体の職員等の支援チームを新たに組織して市町村に派遣し、地域の課題分析や事業実施を伴走型で支援する。

訪問看護事業について

・訪問看護事業では質の高いサービスの提供が求められている。

Q:今後県としてサービスを担う看護人材の確保と育成について、具体的にどのような進め方があるのか?

健康福祉部長:平成28年度から訪問看護支援事業として入門研修・専門研修を実施しており、今年度からはセカンドキャリア研修やマッチング支援などの取り組みを開始している。

IV 性被害の防止

性教育について

・性教育の実施に関して市町村

や学校間で取り組みに温度差が大きい。

Q:小中学生や高校生に対する性教育を充実するために、県として具体的にどう取り組むのか?

知事:助産師会等の関係機関・行政・学校が一体となり、地域において子どもと大人が性について学ぶ機会が広がるよう取り組む。

情報モラル教育について

・子ども達がインターネットを介して性被害に巻き込まれやすい環境にある。

Q:小中学生や高校生に対する「情報モラル教育」を充実すべきと考えるが、具体的にどのような取組を行っているのか?

教育長:ネットを介しての性被害防止のための指導方法等研修会を開催し、県内全ての学校の担当教員に徹底している。ICT環境の低年齢化に対応して小学生向けの情報教育を充実する。

酒井茂ブログ随時更新中!

公式サイト: <https://shigeru-sakai.com/>

みなさまのご提言やご要望をお寄せください。



携帯サイトへ簡単アクセス

酒井茂

検索

酒井茂事務所

〒399-4432 伊那市東春近原新田8243
TEL/FAX.0265-73-5606 E-mail: info@shigeru-sakai.com